

web 第 12 回行動特性研究会のご案内

化学工学会安全部会主催

化学工学会東海支部・関西支部協賛

近年、様々な分野でノンテクニカルスキル起因及び行動特性起因の事故の割合が増大していることが注目されており、化学・石油・電力等のプラント・オペレーションの分野では、社内教育に取り入れられ始めました。

この研究会は、そのようなご要望にお応えするため、全産業分野を対象にしたノンテクニカルスキル起因・行動特性起因の事故抑制についての知見の交流とレベルアップを目的として、(公社)化学工学会安全部会が企画・実施する先駆的な試みです。

2016年の初回からすでに今回で12回目を数えることになり、皆様のご支援に感謝申し上げます。

開催日：2021年5月18日（火）13:30から16:40

場 所：web

講習・発表内容：質疑応答時間含む

- | | |
|---|--------|
| 1) 基調講演："吉田調書"の分析に基づく緊急時対応ノンテクニカルスキル訓練の開発 | 50分 |
| | 休憩 10分 |
| 2) 過去の行動特性研究会での質問を元に今ならこう答える | 40分 |
| 3) ノンテクニカルスキル教育のあり方を探る | 30分 |
| 4) ノンテクニカルスキル教育とテクニカルスキル教育のバランスの試み | 10分 |
| 5) 公開悩み相談室 | 20分 |

参加費：ひとり税込み16500円

早期割引：3月末までにお申込みの方は割引（ひとり税込み11000円に）

無料対象者：

体験教室友の会プレミアム会員（該当は巻尾に記載）2月18日時点

化学工学会安全部会の法人賛助会員の社員は2名（今回2名）（該当は巻尾に記載）

お申込みの締め切り：5月10日17時です。

予稿集：1) はございませんのでご了承ください。下記関連論文をダウンロードし、

2)、3)はBOXに5月11日に格納しますのでダウンロードしてください。

交流会はございません。

講 師：

- 1) は株式会社原子力安全システム研究所（関西電力の関係会社）
社会システム研究所 副主任研究員 彦野 賢氏
- 2) の回答者（教育アドバイザー）ENEOS(株) 堤克一路氏・大平孝太郎氏
清水建設(株) 井上哲夫氏、三井化学(株) 森本聡氏、化学工学会安全部会 南川忠男
- 3) は化学工学会安全部会事務局 南川 忠男
- 4) は ENEOS(株) 堤克一路氏
- 5) はご質問を受け付け、公開質疑応答となります。回答は教育アドバイザーです。
お申込み時に備考欄に記入してください。先着 5 名様のお質問について対応します。

基調講演の発表要約

2011 年の東日本大震災以降、発電所では、設備の安全性向上のみならず、緊急時対策本部内で指揮命令をとりしきる幹部クラス職員のリーダーシップ能力の向上が、社会から強く求められている。そこで筆者らは、2014 年に公開された政府事故調による当時の所長聴取記録（いわゆる吉田調書）は、過酷事故に遭遇した際の発電所指揮官の生きた貴重な教訓との思いから、共通教訓となり得る箇所を抽出し、リーダーに必要なノンテクニカルスキルを 8 項目に集約分類した。さらに、緊急時の初期対応を行う職員を対象とし、それらのノンテクニカルスキルを向上するための現場で実施可能な訓練カリキュラムを開発し実践している（通称：たいかん訓練）。

原子力分野での取り組みであるたいかん訓練開発を紹介することは、化学プロセス産業をはじめとする各分野の産業現場における安全教育に寄与できると考え、万一の緊急時もしくは日常の事業運営にその成果が役立てば幸いである。

元になっている報文 2 報

- ① 彦野 賢・作田 博・松井 裕子・後藤 学・金山 正樹 (2016).
政府事故調聴取記録からのノンテクニカル
スキル教訓の抽出, INSS Journal, 23, 153-159.

http://www.inss.co.jp/wp-content/uploads/2017/03/2016_23J153_159.pdf

- ② 彦野 賢・松井 裕子・金山 正樹 (2017) .
ノンテクニカルスキルに着目した緊急時対応訓練の開発
- (1) 「たいかん訓練」の開発と試行 -, INSS Journal, 24, 32-41.

http://www.inss.co.jp/wp-content/uploads/2017/11/2017_24J032_041.pdf

2) の「過去の行動特性研究会での質問を元に今ならこう答える」
過去 11 回の行動特性研究会では多くの質問が寄せられ、その多くは化学工業日報社の 2020 年 6 月に発刊の「産業現場のノンテクニカルスキル教育実践ガイドブック」の第 6 章に掲載しました。

その中には普遍的な質問、深い質問があり、教育アドバイザーが現在の視点でひとりあたり2問に回答・解説していくものです。

3) の「ノンテクニカルスキル教育のあり方を探る」は①から④は南川

- ① ノンテクニカルスキル教育インストラクターの要件
- ② 望ましい教育プログラム
- ③ 若年層教育の必要性
- ④ コロナ禍及びコロナ後の教育コンテンツの ondemand 配信

4) の「ノンテクニカルスキル教育とテクニカルスキル教育のバランスの試み」は標題のとおり事故防止のため偏らない教育を目指すトライアルの報告です。

準備：通信の試運転

お申込みの方には5月11日13時10分に主催者から Teams の URL のご案内を差し上げます。当日13:30、5月12日11時、14時、16時のいずれかにアクセスして通信状態を確認してください。(事前連絡必要) 会社の Teams を使用の方及び化学工学会安全部会の web イベントに参加済みの方は試運転不要です。

受講 Teams の URL : 5月11日には発信されたものと同一です。

お申込みになっていて受信できなかった場合はすぐに主催者にメールで連絡してください。予稿集の BOX もこの時にお知らせします。

受講受付：

5月18日13:10から入室できます。13:25までに入室をお願いします。

映像切りで入室し、入室後ミュートにして下さい。開講挨拶時の3分間に遅刻入場される方は開講挨拶完了まで入室ができません。 TeamsURL の転送によりお申込み者名簿にない方は入室できませんので、ご了承ください。

振り返りシート : 電子振り返りシートが受講者に5月18日夕方に発信されるので、1週間以内にご提出下さい。

申込方法 : 安全部会電子受付サイト (下記 URL) よりお申込みください (電話・FAX・電子メールによるお申し込みはご遠慮ください)。

お申し込みをいただきますと折り返し、請求書を電子メール添付の PDF でお送り致します。(書面入用率0%) 受講料は前払いとなりますので、入金を確認したところでお申込み手続完了とさせていただきます。

締め切り直前のお申込みには後払いも OK です。

キャンセルの払い戻しはございませんので、代理を立てて下さい。

お申込みは下記です。属性が不確かな方はその欄は「一般」でも OK です。

安全部会電子受付サイト URL

ー受付サイト <http://www2.scej.org/anzen/>

上記電子受付サイト及びお問い合わせ用メールフォームは「化学工学会 安全部会」で検

索をしていただくとヒットする安全部会ホームページ上でボタン・リンクによる誘導に従っていただくと到達することができます。

体験教室友の会プレミアム会員（2020年12月に登録開始）

- ① 中部電力パワーグリッド(株)様
- ② アサヒブリテック(株)

化学工学会安全部会の法人賛助会員（2016年7月に登録開始）リスト

登録順の掲載です。毎年化学工学会安全部会の活動支援どうもありがとうございます。

- ① (株)大阪ソーダ様
- ② 三井化学株式会社様
- ③ ENEOS 株式会社様
- ④ デンカ株式会社様
- ⑤ 鹿島塩ビモノマー株式会社様
- ⑥ 出光興産(株)様
- ⑦ 住友化学(株)様
- ⑧ JNC 株式会社様
- ⑨ 日本精化株式会社様
- ⑩ 昭和四日市石油株式会社様
- ⑪ 昭和電工株式会社様
- ⑫ 三菱ガス化学株式会社

今後の展開：online の演習や行動特性評価の企業単位の体験教室あるいは特設講座、コンサルティング事業を実施中ですので、ご興味をお持ちの方は、下記にてお問い合わせください。すでに多くの事業者の方々ご利用どうもありがとうございます。

行動特性研究会、紹介書籍の購入、過去の行動特性研究会の予稿集（バックナンバー）のご希望者、体験教室友の会、法人賛助会員入会など各種お問合せは

お問い合わせ先：scej-minamigawa@ozzio.jp あるいは

安全部会事務局（下記 URL からメールフォームによりご送信ください）

<http://www2.scej.org/anzen/contact/>

お問合せコーナーで承ります。ご気軽にどうぞ。